



田中 一先生

運動部の部長を勧める先生の中には、その種目について経験のある方とそうでない方がおられるが、田中先生は埼玉師範学校蹴球部に籍を置いておられたと伺っている。母校を訪れる先輩たちにコーチを任せ、ご自分で直接指導されることはなかったが、昭和20年～昭和24年の間に部長として私たちをお世話して下さいました。

担当教科が地理であるだけに、海外の情勢について詳しく、世界でも普及度の高いサッカーについて、いろいろと参考になるお話を伺う機会が多かった。

地理の試験での答案作成に、文章記述に併せて地図による解説を加えな

いと、得点が大幅に減少するのが先生の採点法であった。

先生は一見日本人離れした欧米人を思わせる風貌をしておられ、私などは入学当初に先生を外国人の先生と思った程である。

昭和20年秋の部の再建から昭和24年3月に至る間といえ、いわゆる終戦後の物資欠乏の時代であり、用具不足の解消にご苦労が多かったと思われる、特に私たちの戦後初の全国大会出場に際しては、食料の調達にまで奔走されたのであった。ここに改めてお礼申し上げる次第である。

先生のご子息である和久君は高校17回の卒業であるが、在学中はサッカー部員として活躍し、名簿によれば、北海道教育大の教授として勤務されているようである。ご子息の活躍を語るときの先生のうれしそうなお顔が思い出される。

(高校1回 菅野一郎)